

番号	上 かみ の句	下 しも の句	作者 さくしや
90	狭山池 悲願を抱いた古池や さやまいけひがんをいだいたふるいけや	今 いま の我 われ らにも天水 あまづみ を与 たま え	天壤無窮
89	帰り道 スーツケースが軽いのは かえりみちすーつけーすがかるいのは	連れて帰れぬ想 おも いがあるから つれてかえれぬおもいがあるから	ぱんけーき
88	戸を開けて踏み出す 一歩大切に 戸をあけてふみだすいっぽたいせつに	いつも旅はそれから始まる いつもたびはそれからはじめ	てん
87	上がる足 朱色の葉降る登山道 あがるあししゅいろのはふるとぎんどう	落ちていく葉と終わっていく年 おちていくはとおわってゆくとし	ウツヒヨワアアアア
86	この世のには差別があるし存在する このよにはさべつがあるしそんざいする	いろんなことも多様性 いろんなこともたようせい	M K
85	旅先はデイズニー好きのうちはここ たびきはでいずにーずきのうちはここ	みんな大好き ランドとシー みんなだいすきらんどとしー	デイズニーぴーす!
84	叶うなら 一度でいい この想い かなうならいちどでいいこのおもい	届く瞬間を見てみたい とどくしゅんかんをみてみたい	ゆり
83	思ってた 相思相愛 そうだって おもってたそうしそうあいそうだって	でもねそれはねきのせいなんだ でもねそれはねきのせいなんだ	たなか
82	君のこと 考えちゃうよ 忘れない きみのことかんがえちゃうよわすれない	きつとこれは恋なんだ きつとこれはこいなんだ	C u t e
81	天の川 渡らぬ舟の 朽ちぬとも あまのがわたらぬふねのくちぬとも	岸边にたちて 面影を追う きしべにたちておもかげをおう	いちご